

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	道路交通適正化に向けたLRT等の公共交通利用促進施策に係る経費		担当部局庁	都市局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H22/H24		担当課室	街路交通施設課		課長 西植 博	
会計区分	一般会計		施策名	8-32 道路交通の円滑化を推進する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	路面電車等の安全性を向上させるシステムを開発することにより、自動車から路面電車など公共交通への転換を図るとともに、渋滞の緩和や環境負荷の軽減など道路交通の適正化に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	路面電車等の安全性を向上させるため、 ①歩行者と路面電車等の交錯防止を図るシステム ②自動車と路面電車等の交錯防止を図るシステム ③狭隘区間の電停における乗降客の安全確保を図るシステム などのシステムを検討し、実証実験を実施することで施策の効果などを把握するとともに、軌道事業者に対してこれらのシステム機器の製作、設置について助成を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	58	58	69	-
		繰越し等	-	0	0		
		計	-	58	58	69	-
	執行額	-	58	29			
	執行率(%)	-	99.1%	50.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	路面電車等の安全性の向上		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	路面電車等の安全性を向上させるためのシステム開発		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	道路交通円滑化推進費	69	-	-			
計	69	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・都市の低炭素化促進等のために、LRT等の利用促進を図るうえで、重要な施策の一つである安全性向上のために必要な技術開発を、国として進める必要がある
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・企画競争方式により競争性を確保し、また、事業者のニーズにも十分応えている
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・今年度予定しているLRT等の利用促進に資する情報発信を行うための検討を進めているところであり、十分な成果が見込まれる
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・平成23年度については、LRT等の安全性に関して、国内・国外における現在の課題や対策等の事例調査、ケーススタディ等を実施したところ。</p> <p>・軌道事業者への助成については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づく補助金交付申請時に使途の把握を行うとともに、同法に基づく実績報告において実績の把握を行っている。</p> <p>・平成24年度については、ケーススタディをもとに実地検証を行い、地方公共団体等に向けたLRT等の利用促進に資する情報発信を行う。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		<p>本検証業務については廃止することとするが、本検討で得られた課題やケーススタディ、実証実験の検証結果等を有効に活かし、今後も軌道事業者等のニーズを把握しながら、道路管理者と軌道事業者が連携し安全で安心なLRT等の利用促進を図ること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止		<p>本検討で得られた成果と併せて、今年度の業務で得られる成果については、上記軌道事業者等が安全面において抱えている課題を解決するための対策に活用されるよう、効果的な情報発信を行うことで、安全で安心なLRT等の利用促進を図ることとしたい。</p>	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	216

国土交通省
29百万円

※契約ベースにて作成

・路面電車等の安全性の向上による公共交通利用促進施策の検討
・路面電車等の利用促進施策としての、システム機器の製作・設置への助成

【企画競争】

【公募・補助】

A. 公益法人（1法人）
（社）日本交通計画協会
22百万円

・LRT等の公共交通の安全性向上に関する検討

B. 民間企業（1社）
広島電鉄（株）
7百万円

・LRT等の公共交通の利用促進施策としての、システム機器の製作・設置への助成

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (社)日本交通計画協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	LRT等の公共交通の安全性向上に関する検討業務	22			
計		22	計		0
B. 広島電鉄(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	システム機器の製作・設置	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 公益法人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本交通計画協会	路面電車等の安全性を向上による公共交通利用促進施策の検討	22	随意契約 (企画競争)	99.1%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島電鉄(株)	システム機器の製作・設置	7	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					